



SIMOT Research Center NEWSLETTER

No.1 2005.10



東京工業大学インスティテューショナル技術経営学リサーチセンターニューズレター

■ ご案内 ■

2005年10月、東京工業大学大学院・社会理工学研究科、イノベーションマネジメント研究科のメンバーで構成する「東京工業大学インスティテューショナル技術経営学研究センター（Research Center for the Science of Institutional Management of Technology）」が開設されました。これを機に毎月1回、同センターよりニューズレターを発行する運びとなりました。SIMOTメンバーや学内外の有識者によるコラムをはじめ、国内外イベント報告や案内、海外活動報告、教育システム、その実践模様などを掲載していく予定です。

■ 目次 ■

	ページ
● イベント報告 東京 MOT6 大学連合シンポジウム	2
● 海外活動報告 若手研究者 海外研究報告	2
● コラム 「壁と大部屋と垣根」	3
● 学生の目 SIMOT とサマー・インターンシップ	3
● ショートイッセイ Co-Evolution 事始	3
● 最近の動き 海外出張・研究者招聘	4
● イベント予定 オープンキャンパス 研究・技術計画学会 国際問題分科会	4
● 連絡先	4

■ イベント報告 ■

Inter-COE21 シンポジウム (8月25日(木)、26日(金) 東京工業大学)

東京工業大学 COE12 拠点合同で高校生向けシンポジウムが開催されました。SIMOT では、ビジネスの最先端で活動する経営者を招聘しての特別講演会およびビジネスシミュレーションゲームを行いました。



第1回 日中産学官連携セミナー (8月23日 (火) 東京工業大学)

「中国知的財産セミナー」と題し、中国知的財産権研究センター理事長就任予定の劉亜氏の講演のほか、SIMOT メンバー 田中義敏助教授が「日本における知的財産権の現状と日中間の視点」をテーマに講演しました。



第1回 東京MOT6大学連合シンポジウム (9月27日(火) 東京国際フォーラム)

技術経営専門職大学院 (MOT) を設置する東京の6つの大学 (東京工業大学、芝浦工業大学、東京農工大学、東京理科大学、日本工業大学、早稲田大学) 合同シンポジウム『動き出した技術経営・MOT 大学院』が開催されました。

本拠点サブリダーの圓川隆夫教授がパネルディスカッションにて「産業・企業競争力を高める日本型 MOT 教育」を紹介したほか、本学出身者 藤末健三参議院議員による基調講演などが行われました。



■ 海外活動報告 ■

国際 MOT 学会 Awards banquet (5月22-26日 ウィーン)

経営専攻・SIMOT を中心にした活動が評価され、東京工業大学が The top 50 global centers of research on the Management of Technology のひとつとして表彰されました。

本学の代表として拠点リーダー 渡辺千仞教授が一般講演を行った他、その代理として SIMOT RA (山田晃央) が一般講演および表彰式に参加、国際 MOT 学会会長より記念の盾を受け取りました。



若手研究者 海外研究報告 (9月18日, 19日 ラクセンブルグ)

国際応用システム分析研究所 (IIASA: International Institute for Applied Systems Analysis, 在オーストリア) とのテクニカルミーティングにおいて、SIMOT 拠点リーダー 渡辺千仞教授の他、助手・RA が研究報告を行いました。

SIMOT の教育活動の一環として公募・選考された SIMOT RA たちは、「イノベーションとインスティテューション」のテーマの下、日本、米国、英国、ロシア、オランダ、オーストリア、インド、中国といった多彩な国から集まった新鋭の研究者と積極的に議論を行いました。

今回の研究報告内容は IIASA・東京工業大学のテクニカルミーティングの報告書としてまとめられます。



コラム

「壁と大部屋と垣根」

東京工業大学大学院社会理工学研究科助教授 妹尾 大



新しい価値を生み出しやすいのはどんな職場なのだろうか、ということを考えている。イノベーションを、以前には異質であった生産要素が結合する過程であるとの定義どおりに捉えると、異質な生産要素どうしが接触する機会の多い職場は有力候補となる。生産要素として「知識」に注目しているの、人と人との交流を促したり妨げたりする「境界」が特に気にかかる。たとえば、オフィスフロアの仕切りが気にかかる。

部門や用途ごとに壁で区切られた部屋を用意している企業があり、壁が弊害をもたらしたという反省からバウンダリレス(境界無し)の大部屋を重用する企業もある。興味を引かれたのは、プランター(植栽)を並べてフロア内の仕切りとしているオフィスだ。不透明でも透明でもない、この「半透明」の仕切りは、垣根や障子や屏風といった日本古来の仕切りをほうふつとさせる。日本人の価値観や行動規範と馴染んでイノベーションを促進するかもしれない。



学生の日

SIMOT とサマー・インターンシップ

SIMOT RA 博士課程2年 陳 昭蓉



2005年の夏休み期間に、ボストン・コンサルティング・グループ(BCG)にてインターンシップに参加させていただきました。

実際にプロジェクト担当チームに所属し、クライアント企業の事業実態を調査して、コンサルタントの皆さんと一緒に事業の最適化戦略を考えるという作業に参加しました。社会経験の少ない自分にとって、実際に企業に意見を提供することはたいへん難しく、短期間に対象とする業界に関する知識を大量に吸収しないといけませんでした。

SIMOTの授業で講師の皆さんが様々な業界について紹介してくれましたので、その基礎知識のおかげで重要なポイントをよりはやく掴むことができました。授業を通じて学んだ、「仮説・検証・解決策の考案」という手法をインターンのときに実践して、「実際はこんなところで役に立つのだ！」と痛感しました。また、授業での議論により育ったコミュニケーション力・発表力も非常に重要だと実感しました。



学校で勉強したことを実社会でどのように役立てることができるのかを学ぶため、皆さんも機会を見つけて、ぜひ様々なインターンに挑戦してください。

Co-Evolution 事始

SIMOTの基本は、「イノベーション創出サイクル」は、「インスティテューション」との「共進のダイナミズム」に依存し、イノベーションのみならず、インスティテューションの方も進化していくという相互進化の考えに立脚します。

この概念は、生態学から派生し、Martenは、生態系を構成する生物達が相互に行う生存の仕方として「共存」(Co-existence)、「共通適応」(Co-adaptation)、「共進化」(Co-evolution)の3つの対応を示していますが、まさに第3の対応こそが、我々のイメージそのものです。これは、最近の携帯が、ポケベル・通話・写真・IP・カメラ・GPS・TV・音楽配信・財布といった機能の革新とともにユーザーの方の社会経済や生活パターンも変わり、それがもっと優れた機能を要求するといった好循環のサイクルに端的に見られます。

我々は、この概念に注目して、2001年2月、3月に東京工業大学及びIIASAで、「Co-evolution of Technology Impacting Society and Industry」といったワークショップを開いて、この概念を練り上げてきました。

戦後60年を記念して、先般経済同友会がまとめられた「世界における日本の使命」の提言もこの「共進化」の考えをベースとされています。

SIMOT 拠点リーダー 渡辺千仍



SIMOT とは・・・

SIMOT とは、「インスティテューショナル技術経営学 (The Science of Institutional Management of Technology)」の略称です。日本の技術経営が本来機能を回復し、世界価値を創造するダイナミズムについての理論および方法論の探究を目指します。

■ 最近の動き ■

海外出張

渡辺	9月16日 ~ 26日	オーストリア	水野	10月30日 ~ 11月3日	シンガポール
	10月23日 ~ 30日	オーストリア	曹	6月30日 ~ 7月4日	アメリカ
圓川	5月21日 ~ 27日	フィンランド		7月30日 ~ 8月6日	イタリア
木本	7月24日 ~ 30日	中国		8月8日 ~ 16日	アメリカ
	8月1日 ~ 3日	中国		8月23日 ~ 26日	韓国
飯島	7月7日 ~ 12日	タイ, マレーシア		9月8日 ~ 13日	中国
	8月24日 ~ 28日	韓国	梅室	7月24日 ~ 28日	アメリカ
伊藤	5月29日 ~ 6月8日	デンマーク	妹尾	8月24日 ~ 28日	韓国
	7月21日 ~ 29日	アメリカ		7月6日 ~ 7月11日	タイ

海外研究者招聘

圓川	5月27日 ~ 6月14日	Shane J. Schvaneveldt (米 ウェバ-州立大学)	渡辺	11月6日 ~ 11月16日	Alexey I. Smirnov (露 モスク州立大学)
曹	9月20日 ~ 27日	Stefan Minner (独 マンハイム大学)			Lilia N. Lukianova (露 聖ペテロブルグ州立大学)
	9月27日 ~ 10月7日	Jian Chen (中 清華大学)			

■ イベント予定 ■

平成 17 年度 東京工業大学 オープンキャンパス

日時 10月22日(土) 23日(土) 10:00~17:00
 場所 東京工業大学 大岡山キャンパス 西9号館 コラボレーションルーム A、B

研究・技術計画学会 国際問題分科会 10月例会

日時 10月31日(月) 18:00~20:00
 場所 東京工業大学 百年記念館 第1会議室
 テーマ 日米の技術政策の相互啓発とそのEU技術政策へのインパクト
 - 「インスティテューショナル技術経営学」への示唆
 講師 アラン-マーク リュウ氏 (仏リヨン大学哲学部教授, 東京大学経済学部客員教授)

● ● 発行 ● ●



東京工業大学 21世紀 COE プログラム
 「インスティテューショナル技術経営学」 SIMOT 事務室

〒152-8552 東京都目黒区大岡山 2-12-1 W9-51
 東京工業大学社会理工学研究科経営工学専攻内
 西9号館 208B号室
 TEL: 03-5734-2936 FAX: 03-5734-2250
 Email: nakane@me.titech.ac.jp
 URL: <http://www.me.titech.ac.jp/coe/>
 編集者: 菊池 隆